



「きらりと光るまちの人」
SMILE UP!

Vol.32 **三井 諦** さん
MII AKIRA

地域と学校で守り続けるホタルの光

Q有帆地区のホタル保護活動に加わったきっかけは？

A 26年前、定年退職をして地元に戻ってきたときに、知人から声をかけられたのがきっかけです。地域に貢献できればと思って参加しました。

Q普段どのような活動に取り組んでいますか？

A 有帆小学校内のホタル小屋で卵が幼虫になるまで飼育し、幼虫を有帆運動広場にあるホタル川公園や有帆地区の小川に放流します。そして放流場所で成虫になったホタルを採集しホタル小屋で産卵させます。有帆小学校で講座も行い、児童と一緒にホタルを育てています。

Q大変なことは？

A ホタルは少しの環境の変化でも死んでしまうので気が抜けません。ホタル小屋では温度管理をしていますが、停電のときには自家発電装置を持って駆けつけたこともあります。水槽の水換えも週に3回しています。

Qやりがいや嬉しかったことは？

A 6月の第31回有帆ホタルまつりでは、有帆地区外からの来場者も多くとても賑わいました。ホタルをきっかけにした地域の盛り上がりを感じて嬉しかったです。有帆小学校の児童が熱心にホタルの勉強をして、自分たちでまとめて、発表している姿にも感動しました。

Qこれからの展望は？

A ホタル部会は現在8人で構成していますが、全員80代です。課題はたくさんありますが、今後はより地域と学校が一緒になって「有帆のホタル」を守り、最終的にはホタル川公園で自然にたくさんのホタルが生息し続けられるようになって欲しいです。

Profile・昭和12年生まれ。市内有帆地区出身。20年以上にわたり有帆ふるさとづくり協議会ホタル部会会長を務め、ホタルの世話だけでなく飼育環境の改善を目指して活動中。普段は農業に従事し、米づくりのほか5反(1,500坪)の畑で野菜や菊を育て朝市などにも出品している。



▲児童の発表を見守る三井さん(有帆ホタルまつり) ▲ホタル小屋(有帆小学校内)

「みんなの笑顔」の写真を募集!



【応募方法】①写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②応募者の氏名(掲載はペンネームでも可)③作品名または15文字程度のコメント④応募者の連絡先(昼間連絡のとれる電話番号)

〒756-8601 山陽小野田市役所
シティセールス課広報係 ☎82-1148



ペンネーム あんこ姫
ミニしょくいくはかせ教室楽しいよ♡



ペンネーム こつぶとしずくの母
しずくちゃん♡いつも笑いをありがとう